

世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(大学生等コース)に参加!



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて、若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)」が8月22日～25日の4日間にかけて行われております。

今回はその第2日目の3講座のうち、立山の砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時 : 平成30年8月23日(木) 13:00～14:30
場所 : 富山県民会館704号室
名称 : 平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)
主催 : 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)
参加者 : 大学生等9名、その他庁内聴講者13名

◆プログラム◆

- 講座2 「立山の自然と災害」
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3 「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長
- 講座4 「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」
富山県総合政策局 企画調整室

○講座3

・はじめに

富山県内には3000m級の山々がそびえ、美しい景観と引き換えに土砂災害のポテンシャルが高い地域と言える。160年前に県内で発生した土砂災害による土砂が現在も常願寺川上流に存在しており、この土砂との戦いが現在まで繰り返されてきた。



講座3 : 大坂 剛 事務所長

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
- ・デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤、本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道
- ・最新工法
無人化施工、シャッター付き砂防堰堤
ICT技術の活用 (UAV、MG工法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



会場の様子



講義の様子

・Q&A

Q: 立山砂防のような大規模な砂防事業は、全国的には他に何があるのか?

A: 南は九州から北は北海道まで様々な事業が行われており、それぞれ特徴があるので中々ひとまとめにはできない。

上流部に土砂が貯まっており下流の市街地を守る【水系砂防】の代表格は立山砂防。火山噴出物などから下流を守る【火山砂防】の代表格は桜島や大沢崩れなど富士山の砂防事業など。

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムで、平成25年度から実施しています。